

## 4 外国語能力を高めるスペース

外国語授業は、A L T (外国語指導助手) などネイティブスピーカの活用や、習熟度別のグループ学習などが多くの高等学校で行われています。そうした授業を行いやすくするための施設面の工夫が求められます。外国文化に関する資料の掲示などで興味関心を高めることも有効です。

### 少人数学習の工夫



少人数で行う会話学習に使われているスペース。10人程度用の丸テーブルが学習集団の規模に適合している。(女子聖学院中学校・高等学校)



外国語教科ユニットに設けられた「ラーニングスペース」。教材が豊富に置かれ、少人数授業や自習に使われている。(横須賀市立横須賀総合高等学校)



普通教室ゾーンに設けられた「ゼミ室」。クラスを分割して授業を行うことのできる外国語授業で、有効に利用されている。(野田学園中学校・高等学校)

## 興味、関心をより高める工夫



LL教室の例。一斉指導のためのホワイトボードは、ディスプレイ越しに見られる高さに調整され、また、個別学習ではヘッドホンを使って集中できるようにしている。(福島県立会津学鳳中学校・高等学校)



机に埋め込んだモニターで映像などを提示できるようにした教室。外国語授業では、実際の場面に応じたコミュニケーションができるようになることを期待している。(女子聖学院中学校・高等学校)



「ニュージーランドに関する資料が備え付けられた「国際化HUBステーション」。本校の多数の生徒が留学する国の文化にあらかじめ触れることで、やる気を引き出すようにしている。(郁文館夢学園)

